

中学校 1 年

相手の工夫を聞き取ろう

河内長野市立東中学校

教科

国語

単元名

ダイコンは大きな根

本時のねらい

- 相手の考えや工夫を引き出すインタビュー活動に取り組ませ、効果的な質問について考えさせる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- 相手の考えや思いを引き出すための質問を個人で考え、1 人 1 台端末を使って意見を共有する。
- メモの取り方を限定せず、ロイロノートや、google スライド等自身がメモしやすい手段を選択させる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- 学習支援ソフト（ロイロノート）
- google スライド
- 電子黒板

本時で育む主な情報活用能力

C-STEP 4, K-STEP 4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	○めあてを確認する。 「前時までに取り組んだ『野菜の説明文』について、相手が文章を書くために行った工夫や、思いについて聞きとり、その内容を文章にまとめる。」 ○インタビューの内容に関するルーブリックを確認する。 【写真 1】	・電子黒板と同時に生徒の端末にも同様のデータを送り、生徒が自分でルーブリックを確認できるようにする。
展開 (30 分)	○インタビューのための質問を考える。 ○学習支援ソフトの共有機能を活用し、生徒の意見を共有し、参考になる質問を選択する。 【写真 2】 ○選んだ質問を中心に、グループごとにインタビューに取り組む。 【写真 3】	・生徒の提出カードを共有し、全員が自由に他者の意見を閲覧、引用できる状況を作る。質問を参考にする際は、誰の意見を参考にしたかを自分のプリントなどにメモするよう声をかける。 ・インタビュー時のメモは、自身が最もメモを取りやすい手段を選択するよう声をかける。（ロイロノートや google スライドなど）
まとめ (10 分)	○聞き取った内容を元に、作文を書く。	・自身の書いた文章がストレージ上のどこに保存されているのかなど、作成したデータの取り扱いについても意識を向けるよう声をかける。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】ルーブリックを確認している様子



【写真 2】意見を共有している様子



【写真 3】1 人 1 台端末を使用してインタビューを行う様子

児童生徒の反応や変容

- 情報共有の場面で 1 人 1 台端末を使用することで、「短時間で多くの生徒の意見に触れることができ、考えの幅が広がった。」と話す生徒がいた。メモを取る際には、年度当初は教員に手書きにするか、タブレットを使用するかについて質問をする生徒が多くいたが、本時の授業では、自身で選択している生徒が多くおり、目的を達成するための手段選択は自分たちで行うものだ、という意識が根付きつつあると感じた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 授業中のどの学習活動で 1 人 1 台端末を活用するかについて、生徒一人ひとりが選択する場面を意図的に作ることが重要である。